

営農情報（水稻）

令和元年8月発行

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

6月下旬の田植え～梅雨明けまでの日照不足傾向により軟弱徒長ぎみの生育となっており、草丈は昨年よりやや長め、茎数は昨年より少なく、平年と比較してもやや少なくなっています。

1 基本防除

病害虫防除所の調査結果によると、ウンカ類の発生量は平年並みとなっています。ただし、秋に坪枯れ被害をもたらすトビイロウンカは、田植え時期やほ場毎の発生の差が大きく、箱施薬剤が施用されたほ場でも、農薬の効果の低下に伴い増殖しやすくなります。

◎今年は、8月13日から18日頃に防除を行います。

品種	剤型	薬剤	希釈倍数
全品種	粉剤	アプロードモンカットスタークルF粉剤DL	3～4kg/10a
	液剤	アプロードモンカットエアー	1000倍
		スタークル顆粒水溶剤	2000倍
ツクシホマレ	粉剤	アプロードロムダンモンカットF粉剤DL	3～4kg/10a
	液剤	アプロードロムダンモンカットエアー	750倍
		スタークル顆粒水溶剤	2000倍

液剤を使用する際の散布水量は、10a当たり100リットルです。

※ アプロード剤に対するトビイロウンカの感受性が低下しているため、スタークル剤と混用して使用してください。

※ ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行います。

2 補正防除

本田2回目はウンカ、カメムシを第一に、いもち病を含めて防除の対象としています。

「元気つくし」と「ヒノヒカリ」は補正防除、「ツクシホマレ」は基本防除です。

※出穂してからの畦畔の除草は禁物です（カメムシの本田への飛び込みを助長するため）

品種	防除時期	薬剤（全品種とも粉・液いずれか）	希釈倍数
元気つくし	8月20～22日頃	(粉剤) ブラシントレボン粉剤DL	4kg/10a
ヒノヒカリ	8月25～28日頃		
ツクシホマレ	8月30日～ 9月2日頃	(液剤) ブラシントレボン水和剤	500倍

液剤を使用する際の散布水量は、10a当たり100リットルです。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！